

E. パワー E-1 握力

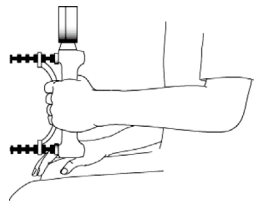
氏名：	記録日：	記録者：
-----	------	------

◆用意するもの：① 握力計

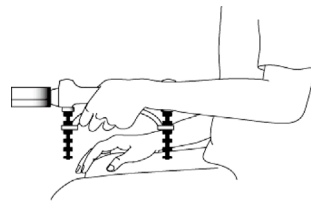
◆検者と被検者の標準位置：被検者は椅子に腰掛ける。検者は被検者と向かい合って座る。

◆検査手順：

- 1) 被検者は上肢を体側につけて垂らし、肘関節を 90 度に屈曲させる。
- 2) 握力計の可動ハンドルを基部から 2 段階目に固定し、全体を垂直に立て、目盛り裏面が被検者に向かうように差し出し、次のように言う：「これから握る力をしらべます。私が合図をしたら、これを握ってください。静かにできるかぎり力を入れてください。」
- 3) 検者は被検者にハンドルを握らせ（垂直位）、検査器具が落ちないように、下から軽く支え、準備ができたところで「はい、どうぞ」と言う。
- 4) 同側を 3 回続けて測定する。
- 5) 反対側も同様に行う。
- 6) 次に、握力計を水平に傾けて握らせ（水平位）、その状態で同様の測定を行う。



垂直位



水平位

◆記録：3 回の測定値およびその平均値を記録する。

◆観察所見：特記事項があれば記録する。

	右 手				左 手			
	本来の（利き手・非利き手）				本来の（利き手・非利き手）			
	（健側・患側）				（健側・患側）			
	（優位手・非優位手）*				（優位手・非優位手）*			
	試行 1	試行 2	試行 3	平均	試行 1	試行 2	試行 3	平均
垂直位	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
水平位	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
観察所見								

\* 優位手とは被検者が最も使いやすくと感じるほうの手

**E. パワー E-2 つまみ力**

氏名：	記録日：	記録者：
-----	------	------

◆用意するもの：①ピンチメーター

◆検者と被検者の標準位置：被検者は椅子に腰かける。検者は被検者と向かい合って座る。

◆検査手順：

- 1) 被検者は上肢を体側につけて垂らし、前腕回内・外中間位で、肘を90度に屈曲させる。
- 2) 検者は、被検者のほうに向けてピンチメーターを水平の状態差し出す。このとき被検者にピンチメーターの測定値を読み取られないよう、目盛り面は下に向ける。
- 3) 検者は被検者に次のように言う：「**こんどはつまむ力をしらべます。私が合図をしたらこれをつまんでください。静かにできるかぎり力を入れてください。**」
- 4) 検者は被検者にピンチメーターを側面把握 (Lat) のフォームで把握させて、準備ができたところで「はい、どうぞ」と言う。検者はピンチメーターを支えていてもよい。
- 5) 同側を3回続けて測定したら、反対側も同様に行う。
- 6) 検者はピンチメーターの測定面を垂直の状態にして被検者に差し出す。
- 7) 被検者の手のフォームを母指、示指、中指による並列軽度屈曲把握 (PMF) にさせ、次のように言う：「**先ほどと同様、静かにできるかぎり力を入れてつまんでください。**」
- 8) 準備ができたところで「はい、どうぞ」と言う。
- 9) 同様に、3回測定する。

◆記録：3回の測定値およびその平均値を記録する。

◆観察所見：特記事項があれば記録する。

	右 手				左 手			
	本来の (利き手・非利き手)				本来の (利き手・非利き手)			
	(健側・患側)				(健側・患側)			
	(優位手・非優位手)*				(優位手・非優位手)*			
	試行 1	試行 2	試行 3	平均	試行 1	試行 2	試行 3	平均
側面把握	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
並列軽度屈曲把握	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
観察所見								

\* 優位手とは被検者が最も使いやすいと感じるほうの手